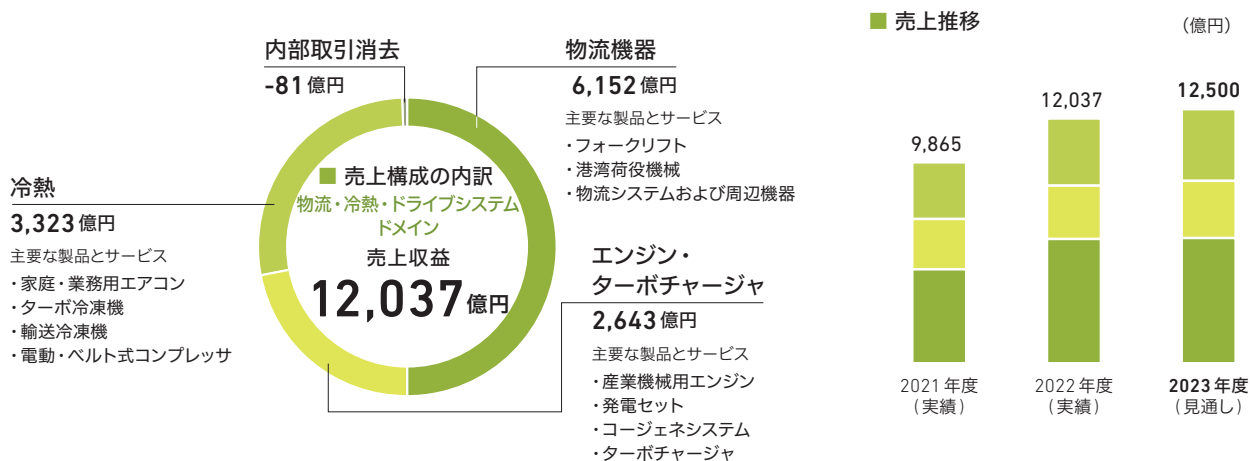


物流・冷熱・ドライブシステム



2022年度の概況と中長期の重点戦略

事業環境

新型コロナウイルス感染症の世界的流行による原材料・物流費の高騰とサプライチェーンの混乱の影響を受けましたが、アフター・コロナの世界的な需要増大の取り込みや価格適正化等の各種施策により、収益は回復傾向にあります。中長期的には低炭素化・脱炭素化社会の進行を背景に、省エネ化製品や電動化製品の市場が拡大していることから、新製品の開発に取り組んでいます。

当ドメインでは、成長分野である物流・冷熱を中心に既存事業の伸長を図るとともに、「社会インフラのスマート化」の領域で、特に「物流知能化」および「冷凍冷蔵倉庫」における市場開拓を担っています。

事業の状況

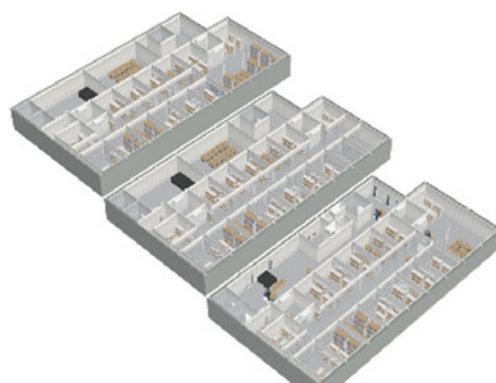
世界的な需要拡大を背景として物流機器や冷熱製品が増加したことなどにより、連結受注高は、前年度を上回る1兆2,150億円となりました。売上収益は、物流機器や冷熱製品が増加したことなどにより、前年度を上回る1兆2,037億円となりました。事業利益は、材料費・物流費の高騰や半導体不足に伴う自動車メーカーの生産調整の影響が継続しているものの、価格適正化や全体的な増収に伴う利益の増加等により、前年度を上回る389億円となりました。

新たな領域として、物流知能化においては、当社の先進制御技術を集約した「Σ SynX (シグマシンクス)」と倉庫内統合制御システムをつなぎ、ピッキングや入出荷、入出庫を自動化するための実証を進め、事業化を図っています。また、既に納入実績のある冷凍冷蔵倉庫では、高冷却効率かつ低消費電力に加え、シミュレーション技術を蓄積して更なる最適化を図り、今後ニーズの拡大が見込まれる東南アジアも視野に入れて事業展開を図っています。

FOCUS DXを使って実現する社会インフラのスマート化



冷凍冷蔵倉庫完成イメージ図



3Dモデルによる庫内シミュレーション

物流・冷熱・ドライブシステムドメインは、DXを駆使した「社会インフラのスマート化」に大きく貢献しています。この領域におけるデジタル・ソリューションのカギを握るのが、先進制御技術を集約したデジタル・プラットフォームの「Σ SynX(シグマシンクス)」です。既に、省人化、最適化、高信頼性をワンストップ・ソリューションで提供することで、お客さまの多様なニーズに応える取り組みを進めています。

物流知能化に関する取り組みでは、AGF(無人フォークリフト)を核とした自動ピッキングソリューションの提供を開始しており、2022年11月には、キリングループのキリンビバレッジ株式会社、キリングループロジスティ

クス株式会社とともに、飲料倉庫への自動ピッキングソリューションの共同実証を開始。飲料業界が抱えるさまざまな物流課題の解決に取り組んでいます。

冷凍冷蔵倉庫では、総合エンジニアリングによる設備・建屋の最適化と工期短縮に加え、高冷却効率、低消費電力化を実現させます。今後はシミュレーション技術を駆使したさらなる最適化の追求により、東南アジア市場も視野に入れるなど、今後の事業拡大を目指します。2023年1月には、京都市中央卸売市場の仲卸業者である京都塩干魚卸協同組合向けに冷凍冷蔵倉庫を納入し、同組合の工期短縮と冷却効率向上、消費電力低減に大きく貢献しています。

▶ ステークホルダーの声



京都塩干魚卸協同組合 理事長
辻 泰三 様

ワンストップソリューション提案による 最適設計で環境負荷低減&省エネ・コストダウンを実現

当組合は、京都市中央卸売市場において北海産製品などを取り扱う仲卸業者の組合です。1988年より、旧株式会社東洋製作所(現:三菱重工冷熱株式会社)製の冷凍設備を導入しています。今般、三菱重工グループからのご提案を受け、建屋と設備が一体となったワンストップ・ソリューションを採用させていただきました。初期の構想から設計・施工に至るまで、ワンストップで請け負っていただけたことでコストダウンを図ることができたほか、設備面での環境負荷の低減と省エネも同時に実現することができました。また、冷凍倉庫には欠かせない防熱・湿気対策を通じた品質の維持や、設備の納品後のアフターサービスに至るまでの総合的なソリューション提案は、ユーザーとしては強い安心感がありました。